

# 那須 英二 議員

## 日本共産党弥富市議団



# 問 保育料は今が踏ん張り時では

# 答 大幅値上げではない

**問** 市長の目指す行政改革とは何か。

**答** (市長) 少子高齢化が進み扶助費が増大している。合併算定替えによる減額、新庁舎建設など大型プロジェクトが控えている。安定した行財政運営と財政の健全化が最大の目的。

**問** 国では3〜5歳児の保育無償化と言われている中、9月議会で保育料の具体的な値上げ案が示された。全体で3千万円ほどの市民負担となるが、市の認識は。

**答** (市長) 20年間据え置きしてきたが、質の高い保育サービスの安定的・継続的な維持、公的負担と利用者負担の適正化を図る。

**問** 財源は消費税ではなく企業の内部留保が400兆円以上ある中で、応分の負担で確保すべきと考えるが、

**答** (市長) 現段階では国の具体的な施策が示されていないため答えられない。

**問** 無償化されたならば歳末満児の値下げを検討すべきでは。

**答** (市長) 値下げは考えていない。



**問** 投票に行けない人への対策を

**答** 現在は考えていない

**問** 高齢化などにより投票所が遠く、行きたくても行けないとの市民の声を聞いた。なぜ投票所を28年の参院選から減らしたのか。

**答** (総務課長) 公民館は場所が分かりにくい、投票スペースや駐車場が狭いといった市民の声や、衆参同時選挙の場合、計5票の対応ができないなどの理由から、関係自治会に説明し、理解を得てきた。

**問** 投票所1カ所あたりの経費は。

**答** (総務課長) 人件費・ポスター掲示場所設置経費などで約60万円。プラス備品代。当日投票システム使用時はさらに約65万円。

**問** 十四山支所に期日前投票所の設置はできないか。

**答** (総務課長) 二重投票の防止や、システム利用の環境整備、投票の管理者・立会人の確保などの対応が必要。設置はしない。

**問** 十四山支所や以前投票所になっていた公民館などを集会所として、期日前投票所まで往復できる送迎の手配はできないか。

**答** (総務課長) 費用面の課題があり考えていない。

